

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ポーンズ株式会社本社ビル再建工事	階数	地上5F
建設地	大阪府吹田市西御旅町	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2020年9月23日
敷地面積	2,303㎡	作成者	田中 真紀子
建築面積	1,471㎡	確認日	2020年10月1日
延床面積	4,903㎡	確認者	笠原 恒孝



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 79%
③上記+②以外の 79%
④上記+ 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.2)

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.4)

Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 3.1)

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 4.0)

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.6)

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.4)

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> 近隣へ配慮した計画(南側民家側に圧迫感のない形態) まちなみに配慮した建物ボリューム構成 省エネルギー性に優れた外装、設備機器 		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> 外皮性能の確保(断熱) F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用 	<ul style="list-style-type: none"> 余裕のある天井高 耐久性のある躯体、外部、内部仕上材の採用 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣へ配慮したボリューム構成
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー基準の基準値を下回る計画 BPI=0.65、BEI=0.67 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル材の積極利用 分別容易なユニット材の採用 汚染物質を含まない材料選定 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー基準の基準値を下回る計画 BPI=0.65、BEI=0.67

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0083

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	ポーンズ株式会社本社ビル再建工事						
	建設地	大阪府吹田市西御旅町						
	用途/区分	事務所 工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.3	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							